

# 一期一会

伊集院中学校人権・同和教育係

## 「二学期の人権教育」

二学期の人権学習は、1年生・「女らしさ・男らしさ」、2年生・「国際交流」、3年生・「ものけ姫」に学ぶ、です。

みなさんは人権について学び、多様な感性をもってその思いを感想にしてくれました。その内容からみなさんの成長に触れることができ、嬉しく思い、またたくましさも感じています。そして、みなさんの感想から私たちも学ぶことがあります。みなさんがそれぞれ、思ったこと、学んだことを今後の生活に活かせることを願うとともにみなさんの成長を見守っています。

今回の人権学習の感想を紹介します。

### 1年「女らしさ、男らしさ」

○中学生に上がり、女子と男子に境界線みたいなものができているように感じたけど、性格とか、らしさ、はそれぞれの個性であっていいんだなと思った。うれしかった。

○男だから泣くな、と何回も言われてなんで？と思うことがあった。男だから、女だからと決めつけられないでいいことを知った。

○観る前はまた、女らしくしなさい。とかいうんだらうなと思ってたけど、そうではなく女だから静かにするとか、そんな決めつけ方をなくそうということだったので、少しビックリした。私も少し決めつけていたから、そういうのはやめようと思う。

○ビデオを観る前は、看護師などは女性の仕事で男はできない、など思っていたけどビデオを観て性別に関係なく、自分のやりたい職業をすればいいと思い、自分の個性を大事にしようと思った。

○最初は、男の人が力仕事やサラリーマンなどで女の人が花屋さんなどのほんわか系などの仕事しかないと思っていました。でも、ビデオを観るとその田嶋さんのつらいことが伝わったり、負けない意志がありました。それは、女の人も男の人も関係なく自分の好きな職業になれることが分かり、これからの自分の将来が楽しみになりました。

○この仕事は、こういうものと勝手に決めつけているところがあって、自分の夢を女らしいものに変えているところがあった。ビデオを観て、自分のつきたい職業に向かって、隠すことなく、一生懸命がんばろうと思うようになった。また、どの職業も男女の割合が一緒になっていく社会になれば良いと思う。



### 2年「国際交流」

○アンさんの「国籍より、まず人から見てほしい」という一言がすごく心に残りました。人を国としてしまうと、その人の思いが伝わらない。今まで、私はそのようなことを考えてことがありませんでした。そして、印象だけで判断していた私に気がさせられました。また、理不尽な苦しみを自分一人でかかえこまないことの大切さを学びました。

○本質を見定める目というものが大事なのかなと思いました。そのためには薄っぺらい自己満足なんかじゃない知識を学ぶ。そのための場を設けることも大切なのかなと考えました。今回がその場だったと思います。

○これまで何回も人権学習をしてきて、国に対する差別やしょうがいのある方への差別を学んできました。何であっても、差別を絶対に自分としてはいけないし、されてもいけないと思いました。

○僕は6ヶ月前に韓国に行きました。最初は不安でしたが、最初の考えとは違い優しく接してくれました。とても良い印象を持つことができました。外国の方に偏見を持たないようにしようと思いました。

○差別とは相手のことをよく知らないと起こりやすいと思いました。だから、私はまずたくさん話をして相手がどんな人なのかをよく知らないといけないと思います。そうすれば、相手に自分のこともたくさん知ってもらえると思います。

○自分のコンプレックスのことを言われるたびに笑ってごまかしても、とても泣きたくなくなってきました。心の中ではすごく思います。「じゃあどうすればいいんだよ」とか、「変わりたくても変われないんだよ」と、内面のことを言われたらまだ直せるのにといつも考えます。しかし、私に言うてくるように、私も誰かに似たようなことを言っているんじゃないかと不安になります。なので、周りを変える前に自分から変わることを意識して、これから頑張って生きたいです。



### 3年「もののけ姫」に学ぶ

質問 原作者宮崎駿さんは私たちに、学校や社会でどのように生きなさいと言っているのだと思いますか。

○自分たちが生きていくために、誰かを傷つけたりする生き方ではなくて、その人たちみんなが楽しく、幸せに生きていくために自分たちで双方が生きられる道を探しなさいと言っている。また、戦争や争いで解決するのではなく、きちんと一つ一つを話し合いで決めて、平和な国を創って行って差別や偏見を持たずに生きなさいと言っている。

○十五才になった今、改めてみると、その意味が少しか分かったような気がします。“もののけ姫”では、双方が生きていける道は、エボシたちが自然と協力し合うことだったのではないかと思います。だから、私たちも友だちやそれ以外の人たちと力を合わせながら生きることで、互いにとってプラスになると思います。

○みんなが尊重し合い、自分にある命を大切にしていくためにはお互いがおそれぞれの個性を認め合い、助け合うことが必要だと思う。また、自分の親から授かった大切な命を絶対に無駄にしないで今、自分が生きていることがとても幸せなことだということを意識していくことが必要だと思う。

○どこかで大きな壁にぶつかり、辛く、苦しく「もう死んでしまいたい」と思うことがあったとしても、そこで、諦めるわけではなく、そこでどれだけのことが自分に出来るのか、諦めずに進むことが出来るのか、ということが大切であり、そして相手の気持ちを尊重しながら生きていくことと、苦しくてもそれを解決する方法を見つけて生きなさいということだと、私は思った。

○学校や社会でそれぞれ色々な個性（しょうがいなど）をもった人たちが集ると思うが、互いに個性を認め合い、協力しながら一緒に生きていくことが大切だと言っていると思う。

○差別をせず、勇気ある行動を常にとる生き方をしろと言っていると思う。その差別は自分たちの考えている人間同士のものだけじゃなく、この地球全てに対してだと思ふ。

○私は互いを潰し、片方しか生きていけないような生き方ではなく、自身のもつ特徴を理解し、侵さず、協力し合って生きなさいと言っているように思った。自然と人工物、混ざり合うことのできない対極にあるようなものに見えるが、助け、譲り、協力することができたのではないかと、映画から感じさせられた。